

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	沖縄はり・灸・あん摩マッサージセンター
住 所	那覇市松尾2-15-29
電話番号	098-863-8986

事業所番号	4710101447
管理者名	玉城 和也
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：沖縄視覚障害者福祉センター3階（研修室・訓練室）</p> <p>実施日程：令和8年3月9日（月）・12日（木）</p> <p>概要：技術講習会（レッドフラッグについて、高齢者の施術について）</p> <p>利用者数：7名</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>痛みが発症する原因を知ることによって安全で効果的な施術を行うことができるようになる</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>医学的観点から知識を得ることでリスク管理に繋がる</p>	
<p><成果></p> <p>西洋医学的観点から施術師として学んだ東洋医学をすり合わせてより知識を得ることで、リスクマネジメントが向上することが出来る。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

本講習は、理学療法士の視点から「レッドフラッグ」や高齢者特有の身体的特徴をお伝えし、安全で効果的な施術のためのリスクマネジメントの向上を目的としました。実技においては、視覚に頼らず、参加者皆様の鋭い指先と聴覚を最大限に活かした問診・触診による機能評価の手法を共有しました。実際に皆様の手に触れさせていただき、微細な筋肉の緊張などを捉える感覚の鋭敏さに、講師である私自身が、深く学ばせていただく機会となりました。今回お伝えしたリスク管理の知識は、決して施術を制限するものではなく、患者様と施術者自身を守るための「勇気ある一時停止」のサインとして、皆様の卓越した感覚に新たな視点をプラスしていただきたいと思います。また、昨年の課題であった情報アクセシビリティの向上につきましては、今回「録音データ」および「音声読み上げ用原稿」を提供したことで、視覚障害をお持ちの参加者へより効果的かつスムーズに知識を共有することができました。

連携先企業（担当者）	NPO法人 Mirai Kanai 理事 崎山夏紀
------------	---------------------------

利用者からの意見・評価

- ・これまで痛みというと筋肉痛としか捉えていなかった。じっとしていても痛い、何日経っても痛みが変わらない痛みは何らかの病気が隠れている可能性があるということがわかりました。
- ・腰痛やむくみで来るお客様は多く、さするだけで痛みを伴うむくみはなんらかの原因があることを知りました。
- ・レッドフラッグの重要性は学校でも習ったが、改めて確認できてよかったです。